

真心ある政治「こころのよりどころ通信」

大野市議会議員 林よりかず活動報告



大野市議会議員の林順和です。政治は常に国民、市民のものでなければなりません。私は日ごろから現場を大切に、話を聞いて「誇れるまち大野」実現のため、市民・事業者と行政との橋渡しを心掛けています。

理事者（市行政）は誰のために活動するのか、公共施設は何を目的に設置されているのか。物事を進める上で欠かせない政策決定プロセスがゆがんでおり、早急な転換が必要です。議会での議論、市民との対話を求めて声を上げていきます。

引き続きのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

林 順和 Hayashi Yorikazu 昭和52年(1977)生まれ 48歳
中央大学卒、大野市議会議員2期目

「教育環境の向上」「基幹産業の振興」に予算重点化を

昨年11月21日から12月16日まで開かれた令和7年12月第447回大野市議会定例会は、よりどころ通信でも取り上げてきました結ステーション駐車場の有料化や六呂師トロン温浴施設うらら館の営業時間短縮、文化会館の廃止などの議案のほか、除雪経費や文化会館の解体に向けた設計を行う予算等を審議しました。

一般質問では、子育て世代が抱えている不安の声を市政へ届けて子育て・教育環境の改善を訴えました。併せて、高市政権による地方自治体向け交付金の拡充方針が示されたことから、市民生活を支える基幹産業に対して、必要な投資(物価高対策、設備投資支援)を早急に行うよう求めました。(詳細は次ページ)

◆令和8年4月1日から、次のとおりとなります。

(結ステーション駐車場の有料化)

- ⇒普通自動車等の場合
- ✓入庫から30分以内は無料
- ✓30分超2時間以内は100円(※)
- ✓2時間超、1時間ごとに100円
- ✓24時間ごとの上限は500円
- (※印 土日、祝日は200円)

⇒バスは別に設定あり

⇒駐車場は大野市主催、共催以外では多目的広場として利用できません。

(トロン温浴施設うらら館の休館日等)

- ✓毎週月曜日、1月1日は休館
- ✓営業時間は午後0時～、閉館時間は・3月～11月は午後9時まで
- ・12月～翌年2月は午後7時まで
- ただし、12月31日、1月2日、3日は午後5時に閉館となります。

<https://hayashi-yorikazu.jp/>

「こころのよりどころ通信」バックナンバーや最新の市政情報は、右記のQRコードを読み取ると、簡単にアクセスすることができます。



文化会館巡る論点を明確に

文化会館を巡る議論は、市の政策決定過程において市長自らの説明がないまま進められた結果、市民の不安・不満を増大させました。現文化会館が果たしてきた機能をどう補完するのか等、市民に対して丁寧に説明することを求め、5月末で文化会館を廃止する条例案に対し、担当するくらし産業常任委員会として決議(議会の意思)を付して議決しました。

※決議で示した3項目は右記のとおり→



- ①廃止決定までの経緯と判断理由
- ②代替施設の利便性向上策
- ③閉館後の地域活動や防災対応

機能①文化団体にとって欠かせない活動拠点づくり、設備の導入

- ▶令和7年5月「文化活動発表・鑑賞の場に関する方針」のとおり。
- 文化会館の新築・増築並びに現文化会館の耐震化・長寿命化は行わず、現文化会館は、令和8年5月31日をもって閉館します。
- 文化活動に必要な補修や備品の導入を行い、市内既存施設を有効活用します。
- ▶文化活動に関することは地域づくり部が、跡地活用は行政経営部が担当。

現時点における市行政の方針

機能②地域住民にとって欠かせないコミュニティの場、避難所

- ▶コミュニティの場：近隣施設を利用。
- ▶避難所：震度6弱以上はエキサイト広場など自治会ごとに指定。
- ▶跡地活用：令和7年11月「大野市文化会館跡地利活用方針」のとおり。
- 新たな公共施設の整備は行わず、地域とのつながりを大切にする民間事業者の誘致を進め、市民の利便性向上を図ります。
- 地域住民が集会などに利用できるスペースや、災害時の一時避難場所としての機能整備を促します。

編集後記

令和8年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年始早々、福井県知事選挙が行われます。1月25日投票。また、大野市長選挙が6月7日告示、14日投票と決まりました。昨年末の議会では政策の実績と課題を問う内容が多くありました。ぜひ、ライブ中継動画(下記参照)をご覧いただき、政治に関心を持ってもらえたら嬉しいですね。

市特別職報酬等審議会での議論を経て、4月1日から議員報酬を月額3万円増額する条例改正を行いました。

平成9年以来の改定で、当時の議員定数は24人、直近の選挙時における有権者数は3万1527人でした(令和5年選挙時の定数は16人、有権者数は2万6391人)。

議員一人当たりの有権者数は増加しており、責任の重さを痛感しています。

発行元 林よりかず後援会事務所 【電話・FAX】0779-65-0276 大野市春日二丁目5-13



旧上庄中学校の使用を許可しない理由は。

⇒(教育委員会事務局長)令和7年度末を目途に利活用策を検討しており、地区区長に対して市としての活用策はなく、地区による活用策があれば提案を求めている。令和6年12月、文部科学省の廃校プロジェクトに登録して数件の問い合わせはあるが、現時点で決まったものはない。体育館は他の社会体育施設に空きがあるため活動場所の変更が可能。グラウンドは実績がないことから、令和7年度末で終了する予定としている。

体育館を定期利用しているスポーツ少年団や部活動の地域移行団体には令和8年1月から個別に変更を依頼する。令和8年度からは民間事業者による利活用に向け、公募などの手続きを進める。

林の視点

市長の発言を聞いた区長から聞き、利用団体から不安の声が上がりました。OSORA改修(※)の際、活動場所の変更を受け入れたばかりであり、行政が押し付けるのではなく、団体に寄り添っての対応を求めました。公募して民間事業者が決まるまで、かつ団体の方が納得するまで、旧上庄中学校は引き続き利用できるよう求めました。

(※)令和6年、旧まちなか交流センターを屋内型子どもの遊び場OSORAに改修

児童センターの「機能移転」を検討するとは。

⇒(教育委員会事務局長)児童センターは、遊びと交流の場として誰もが自由に利用できる機能と、本市の場合、放課後に保育を必要とする児童の安全な居場所を確保する機能とがある。働きながら子育てしやすい預かり環境の整備を重点に取り組むこととしている。

放課後の子どもの居場所づくり充実と子どもたちの安全確保、業務遂行上や政策的な観点から施設の必要性を踏まえて、学校の空きスペースを活用するなど機能を移転するための検討を行っていく。

林の視点

和泉を除く4つの児童センターは有終南、有終西、有終東、下庄の各小学校区内に設置されています。放課後児童クラブが学校内で実施できれば特に低学年児童の安全がより確保できることから、議会ではこれまでも要望しており準備が進んでいることに感謝しています。

一方の自由来館については、センター独自で取り組む体験活動もあり、その機能をどう担保するのか、強制することなく関係者と対話しながら検討するよう求めました。



有終南小学校から約700mの場所にある南部児童センターで放課後児童クラブを開設しており、自由来館も含めたスペースの確保が課題となっています。

市内事業者の「稼ぐ力」の現状認識は。

⇒(産業政策課長)ビジネスプランコンテストのプラン実現や大野の逸品創出、商品開発を支援している。道の駅越前おおの荒島の郷は、令和7年9月に累計来場者数が300万人を突破、産直の会売り上げは年2億円であり、農家や事業者の新たな収入源となった。市内産業の振興や市民の所得向上に一定の効果があつたと捉えている。

今後の物価高や経済対策は。

⇒(市長)追加が見込まれる交付金は、食料品価格高騰への対応を含めて市民や事業者の足元の物価高への対策を講じることが重要と認識している。これまでの取り組みの成果や市内の状況を踏まえて必要な支援を速やかに実施できるよう庁内で検討を進めている。

本交付金以外で子ども1人2万円の手当支給が盛り込まれており、速やかに実施できるよう準備を進める。

【再質問】2月～3月は支出が増える時期。間に合わせてほしい。

⇒(行政経営部長)少しでも早く取り組む。

【再質問】第三期環境基本計画策定に向けた事業者アンケート(53社が回答)において、市に求める施策は「省エネ設備等の導入支援」であった。令和5年度にあった支援策の復活を。

⇒(地域経済部長)環境部門とも相談し、大野商工会議所とも連携しながらそういったことをできたらと思っている。

【再質問】旧上庄中学校、今後の文化会館跡地など民間活用を予定しているものは実現可能性を高めるため、サウンディング調査や補助金による投資誘発で事業者の公募してはどうか。

⇒(副市長)民間企業には事情もあり、行政コストを使いたくないという中で最適な状況で進める。まずは、市内事業者も含めて公平に公募した上で個別に折衝する中で、補助金など必要であれば議会とも相談していく。

林の視点

配分される国の交付金だけではなく市の基金(貯金)も活用して、投資の重要性を訴えました。具体的な政策提言として、冬の誘客促進(スキー場と道の駅連携)や宿泊促進にもつながるナイトタイムエコノミー、生産性向上につながる設備投資、賃上げに前向きに取り組む事業者が増えるような経済対策の早期予算化を求めました。